

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育ってほしい児童の姿	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;"> <p>入学当初の児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ランドセルを背負って、学校へ行くのが楽しみ。 ○給食が食べられるか不安。 ○ひらがなやたし算・ひき算を勉強したい。 </div> <div style="width: 70%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 15%;"> <p>期待する児童の姿</p> <p>主体的に自己を発揮しながら学びに向かう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本が定着し、確かな学力が身に付いている。 ○基本的な生活習慣が身に付いている。 ○体力の向上と良い食習慣が定着している。 </div> </div>											
主な学習活動	<p>生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実</p> <p>単元名「ときどきわくわく1年生」(3H) 国語「さあはじめよう なんていおうかな」(2H)「どうぞよろしく」(2H) 書写「じをかくしせい」「えんぴつのもちかた」(3H) 音楽「うたでなかよしになろう」(6H)</p> <p>→</p> <p>生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実</p> <p>単元名「がっこうだいすき」(15H) 国語「こえのおおきさどうするの」(1H) 算数「オリエンテーション」(3H) 図工「すきなもののいっぱい」(2H) 道徳「たのしいがっこう」(1H) 学級活動「初めての給食」(1H)</p> <p>→</p> <p>1年生年間指導計画に基づく学習活動の実施 (合科的・関連的な学習活動を含む)</p>											
環境構成(人・もの・こと等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ モジュールを取り入れた授業 1時間ごとに区切るのではなく、1時間のなかで複数の活動を取り入れ、細かく区切ることで、学校生活に慣れさせていく。 ○ 集団下校 学区ごとに集団下校をすることで、自分が帰る道順、同じ学区に帰る友達のことを知り、安全に帰ることができた。 ○ 6年生との関わり 1年生と6年生のペアを作り、入学式までの準備や入学式後に、ペアの6年生と一緒に過ごすことで、安心して過ごすことができた。また、なかよし遠足、普段の給食・掃除でも、ペアの6年生と一緒に行動することで、6年生をお手本として、生活習慣の基礎を身に付けさせていく。 ○ カリキュラムマネジメントを踏まえた単元構成 生活の授業を基盤にした、カリキュラムマネジメントを踏まえた単元構成を仕組み、教科を問わず、合科的に進めていく。経験を積みながら楽しく主体的に学ぶことができるようにしていく。 ○ 来年度に向けて 第3回幼保小交流会において、年長児が児童のランドセルを背負って、校内を探検する活動を行う。この活動を通して、年長児の入学に対する期待を膨らませる。加えて、年長児が入学に対して不安に思っていることを、交流会の中で解消できるように一緒に活動する取組を行う。 											
園・所の連携	<p>○第1回幼保小交流会</p> <p>6月日()1年1組, 昭和園ゆき組 6月日()1年2組, 昭和園つき組 6月日()1年3組, 愛光園保育所, 聖心保育園 内容: 自己紹介, 手遊び, 歌 など</p>			<p>○第2回幼保小交流会</p> <p>10月日()1年1組, 昭和園ゆき組 10月日()1年2組, 昭和園つき組 10月日()1年3組, 愛光園保育所, 聖心保育園 内容: 歌, 手作りおもちゃを一緒に作り, 遊ぶ など</p>			<p>○第3回幼保小交流会</p> <p>1月日()1年1組, 昭和園ゆき組 1月日()1年2組, 昭和園つき組 1月日()1年3組, 愛光園保育所, 聖心保育園 内容: 昔遊びを一緒にする, 教室を案内する など</p>					
組織との連携	<p>○第1回幼保小連携連絡協議会</p> <p>自己紹介, 昨年度の反省, 交流会の日程確認, 交流園児・児童の実態交流 など</p>			<p>○第2回幼保小連携連絡協議会</p> <p>前回の交流会の反省, 交流会の日程確認, 交流会で行う内容の確認 など</p>			<p>○第3回幼保小連携連絡協議会, 第4回幼保小連携連絡協議会</p> <p>今年度の反省, 来年度交流会の日程確認 など</p> <p>○来年度入学児童連携連絡協議会</p> <p>来年度入学児童の実態把握を行い, 来年度のクラス替えなどに活かす。</p>					
家庭との連携	<p>○ 週1回の学年通信の配布</p> <p>学校での様子や1週間ごとの時間割を保護者に配布することで、時間割と一緒にしてもらい、明日の時間割の準備の習慣を身に付けたり、保護者にも学校生活の様子を知ってもらったりする。</p>			<p>○ 月1回の学年通信の配布</p> <p>学校での様子や1か月ごとの学校生活の様子を知ってもらったり、自分で家庭学習や身の回りの準備ができるように各家庭に協力を促したりする。</p>								
備考欄												